

この指と一まれ（4回号）

大中里保育園 園長 塩川恵美子

深まりゆく秋に！！ おすすめは・・・

「天高く馬肥ゆる秋」「芸術の秋」「読書の秋」「スポーツの秋」そして「ものおもう秋」。
さてさてどんな秋が好きですか？ どんな秋にしたいですか？
暑い暑いと考える気力も 食べる意欲も 動くことさえ億劫だった夏。過ぎてしまえばその夏だって懐かしい…恋しくさえ思いませんか？
今年は海にもプールにもいかなかったな。暑苦しいよ——うるさいよ——と言っていた蝉の声がなんだか恋しい。のど元過ぎればあの暑い夏もなんだか素敵に思えるから不思議。
でも吹く風が優しくて 栗だ・柿だ・新米だとおいしそうに実りに心が躍るし、動いても汗でべとべとしない心地よさにどれ！歩いてみようかなんて意欲的になれる季節はとても魅力的。ということで私はまずちょっとご無沙汰気味の読書の秋に挑戦。
と言っても仕事がらみ？？で読みたい本が（読まなきゃならない本も）たくさんあるけど後回しになっています。そう年とともに目を使うことがしんどくなって活字から遠のいてしまう最近。でもこれなら大丈夫！！読書の秋にふさわしく私には絵本という見方があった。大中里保育園は「カエル文庫」という貸し出しのための絵本がたくさん揃っています。
絵本のいいところは字が大きい。字が少ない。夢や口マンがいっぱい。いろんな楽しいことが座ったままで体験？できる。…なりたいものになれる。したいことができる。あきらめていたことだってできそうな気がする。
なんて素敵なんでしょう。まずはきれいな絵を見ることから始めよう。0歳用にそろえた絵本は絵だけでも結構あります。どんなお話にするかは私次第。絵だけ眺めていても楽しい。
絵本って子供だけのものじゃない。大人だって夢中になれる。
子どもを育てる期間は何かと犠牲にしなければならないことが多いけどでも一人の時間を持つことだって大事ですね。ちょっと気が引けるけど自分のための豊かな時間。
でも絵本は魔法の力を持っています。だってママがパパが大好きな絵本に夢中になれたらきっと子供にも読んであげたくなるし 一緒に楽しみたくなると思うからです。この秋ぜひ大好きな絵本に出会ってください。絵本なんて・・・と思わないでまず手に取ってみてください。素敵な時間をお約束します。
感じる事が 考える事が 自分の意思で行動することが 表現することが 工夫することが 話をする事が 待つことが 他の人と助け合うことが 集中することが苦手になっている子供たち。もしかすると大人だって苦手になっていないかしら？
読書でも スポーツでも 芸術でも 何か一つこの秋に気持ちを入れて実行してみたら意外と（感じる事 考える事 自分の意思で行動すること 表現すること 工夫すること 話をする事 ……など）克服できるのではないかと思います。
私のこの秋のおすすめは子供も喜び 豊かな時間をくれる「絵本タイム」で一す。

